

～ 欧州電気通信標準化[ETSI]の基本動向と 意思決定機構に関する調査報告書概要～

調査の目的

G S M標準や第三世代携帯電話技術の標準化、N G Nの標準化等で重要な役割を果たしているE T S Iの問題意識や今後の取組動向等を出来るだけ正確に把握するため、E T S I関係者に直接ヒアリングを行うことにした。

調査機関、調査方法

パリ事務所の関心事項に係る適切な報告書を効率的に作成するため、調査の実施に当たっては、関心事項に基づく質問項目の作成、質問先の選定、ヒアリング等への同席・補助、結果概要の整理等について調査会社に委託した。

報告書概要

E T S Iにおいて、N G N、3 G P P、I T S、機構運営、インターネットに係るテスト等をそれぞれ担当する責任者に、現状と今後の課題を直接ヒアリングすることで、各分野において欧州のI T産業界が現在、直面している課題と今後の方向性を把握した。特にN G Nについては、ヒアリングを通じて、我が国の産業界が固定網の光化、オールI P化を重視しているのに対し、欧州の産業界はF M Cを始めとするネットワーク融合に重点を置いているという違いがあることが浮き彫りとなった。

2007年1月31日
N I C T 欧州パリ事務所